



# 物語を中心とする平安朝文学の研究 及び文芸資料から見た地域文化研究

人間文化学部 国際文化学科  
教授 西本 寮子 (にしもと りょうこ)

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1914 室  
Tel 082-251-5178 (代表) Fax 082-251-9405 (代表)  
E-mail nisimoto@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 日本古典文学 物語文学

キーワード： 中世王朝物語 源氏物語 とりかへばや物語  
古典籍 地域文化

厳島にかかわる資料の研究もそのひとつです。岸田裕之編『毛利元就と地域社会』（2007年、中国新聞社刊）をご覧ください。

## ● 主な取り組み・活動

○『源氏物語』をはじめとする物語文学を中心として、平安朝の文学・文化について研究しています。

○『とりかへばや物語』と『有明けの別れ』は800年以上も前、平家の人々が活躍した時代に成立した作り物語ですが、異性装という現代的テーマを抱え込んでいます。文学や文化を通して時代や社会を捉え、歴史が語りかけてくる課題を現代の視点で捉え直したいと考えています。物語が成立した時代と享受した人々、すなわち人の営みに焦点を当てて研究を続けています。

中世王朝物語全集『とりかへばや』（共著、1998年、笠間書院刊）、最近では『王朝文学文化歴史大事典』（倉田実他編、2011年、笠間書院刊）の項目執筆があります。

○中世王朝物語の成立は『源氏物語』の享受と深くかかわっています。物語文学史の展開のなかで『源氏物語』享受の様相を明らかにしたいと考えています。

○もうひとつの研究の柱は、人や書物を介して都から地方へ伝えられた文化的営みの掘り起こしと、書物（古典籍）など地域に伝わる資料に基づいて行う地域文化研究です。これまで、戦国時代の毛利氏周辺の文化的営みや江戸時代の広島城下の文化的活況の一端を明らかにしてきました。

## ● 今後の目標・抱負

今後『源氏物語』の享受や中世王朝物語の研究、地域文化研究の2つの柱を軸に調査・研究を進めていきます。

## ● 地域・社会と連携して進めたい内容

○広島県内には海路、陸路ともに人や物が行き交う交通の要衝として栄えた地域があることから、多くの文化資源ともいべき資料が伝わっていると思われます。明治以前に作られた和綴りの書物や古文書など、図書館や資料館あるいは地域に伝わる文字資料に基づいて当該地域の歴史や文化について学びたいというご希望があれば、直接、または地域連携センターを通じてご相談ください。自治体や文化施設、生涯学習施設等と連携して調査・研究を行い、得られた成果については講座等を通じて地域のみなさまにお知らせします。

## ● これまでの連携事例・実績

本学主催の公開講座のほか、自治体や県内の図書館、美術館、公民館などと連携して古典文学講座や講演会を行ってきました。文学講座、文化講座については企画立案にも携わってきました。